

東鷺宮病院FAX通信

～ 栄養科より ～ 「NSTについて」



2018年（平成30年）7月号

NSTとは「Nutrition Support Team」の略で、入院患者さんに適した栄養補給法で食事等を提供するために、患者さんの体格・栄養状態・疾患・食習慣をアセスメントして栄養改善を進めていく、多職種で構成された医療チームのことで、

当院では右の表のような職種で構成されており患者さんの栄養状態の改善・QOLの向上・治療効果の向上・入院期間の短縮などを目標に活動しています。

①医師	1名
②看護師	2名（専任）
③薬剤師	1名（専任）
④管理栄養士	1名（専任） 1名（専従）
⑤リハビリスタッフ	

●各職員の役割

【当院のNST活動について】



- ・医師…栄養療法の選択・指示
- ・看護師…栄養状態の評価と実務
- ・薬剤師…服薬指導
- ・管理栄養士…患者の抽出とアセスメント・栄養補給法の提案・作業に必要な事務処理など

●褥瘡・創傷ケアセンターとの連携

当院には褥瘡・創傷ケアセンターがあります。褥瘡の改善・治癒・予防には良好な栄養管理が重要なので、褥瘡委員会と連携を持っています。毎週金曜日の9:30から、褥瘡回診と合同でNST回診を実施しています。回診中やその後のカンファレンスにおいて、各職種から様々な意見交換や指示などが出され次の治療に反映されます。NST対象者の設定は、「あきらかな低栄養状態がある」・「褥瘡を有している」・「医師が栄養介入を必要と判断する」などの点を基準としています。



【合同回診の様子】

具体的な栄養改善の内容は、患者さんの食事量・嚥下状態などを考慮して、通常の食事に栄養補助食品を付加したり、食事で補いきれない場合は、医師より薬価の栄養剤を処方して頂いたりして十分な提供栄養量を確保します。また、経腸栄養剤を使用する場合は、患者さんの栄養状態・病態に合わせた経腸栄養剤を設定します。下痢などの消化器症状がある場合は、ビフィズス菌や、栄養ポンプなど可能な対策を講じて提供栄養量の確保に努めています。

●NST 活動の実績

2017年度の回診実施件数は785件で、1回の回診で平均16.4名の患者さんに関わりました。その結果、栄養介入前は平均2.8g/dlだったアルブミン値が3.0g/dlに有意に改善しました。褥瘡の評価も同様に改善しました。NST対象になる患者さんは、摂食量が少なく、嚥下機能が低下している場合が多いです。すみやかに患者さんに適した栄養補給法を選択し、経過に合わせて変更していく事が重要です。入院時に元気がなく食事が進まなかった患者さんが少しずつ元気を取り戻して、嚥下訓練もすすみ、食形態が大きい食事を食べられるようになったり、食事量が増えていくのを目の当たりにすると、各スタッフの見守りや関わりも重要であることを痛感します。

施設やご自宅での療養をされている患者さんが、食欲不振から脱水がある場合は、早めに病院に連れてきていただいて、点滴治療と栄養管理（NST）を行うことをおすすめします。